

JAPAN P&I NEWS

No. 752-15/07/31

組合員各位

中国海域の航行警報 No. 35

2015年6月30日付 Japan P&I News (No. 741)にて最近の中国海域航行警報をご案内いたしました。中国、上海の弁護士事務所 Sloma & Co. より追加情報を入手しましたので、ご参考に供し、当該海域を航行する各船舶の安全航行と事故防止を祈念いたします。

以上

日本船主責任相互保険組合

ロスプリベンション推進部

Tel: +81 3 3662 7229

Fax: +81 3 3662 7107

E-mail: lossprevention-dpt@piclub.or.jp

Website: <https://www.piclub.or.jp>

中国海域の航行警報及び航路情報 (No.35)

1. Daishan Island 及び Jinshan Channel 間 – 海底光ファイバーケーブル敷設作業

ZHH (2015) No.81

China MSA 2015 年 7 月 17 日

I. 作業期間：2015 年 7 月 18 日～2015 年 8 月 31 日の昼夜

II. 作業区域：Daishan Island と Jinshan Channel 間、以下の地点を結んだ両側 500m の海域。

A: 30°31'15"N / 122°03'16"E;

B: 30°29'42"N / 122°01'50"E;

C: 30°29'25"N / 122°01'50"E;

D: 30°22'31"N / 122°11'54"E;

E: 30°22'15"N / 122°12'01"E;

F: 30°21'14"N / 122°11'46"E;

G: 30°20'39"N / 122°11'33"E;

H: 30°20'20"N / 122°11'16"E;

I: 30°20'20"N / 122°11'09"E.

III. 作業船と作業内容：“Feng Yang Hai Gong”は上記の海域で海底光ファイバーケーブルの敷設作業を行う。“Ming Xing Tuo 3”及び“Zhe Ding 58019”は現場で作業の補助にあたる。

IV. 注意事項：

1. 作業船は作業期間中「Regulation on Signal Exhibition in Coastal Port」の法令に従って信号を掲揚し、VHF16 チャンネルを聴取している。
2. 付近航行船舶は見張りを強化し、VHF16 チャンネルの連続聴取を厳守、作業船から 300m 以上離れて低速で航行すること。
3. 現場には保安監視の警戒船が配備され、VHF16 チャンネルで連絡をとることができる。作業区域付近を航行する船舶は同警戒船の指示に従うこと。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/407c44a1-1338-41c4-8b9d-cac3ea78b6f6>

2. Qingdao 港 No.6 及び No.7 仮錨地使用開始

QHSHT (2015) No.30

China MSA 2015 年 6 月 26 日

Qingdao 港の No.6 及び No.7 錨地が以下のとおり使用開始となる。

I. Qingdao 港 No.6 仮錨地

水深は 29.5m～33.0m。底質は土砂・砂利。以下の 3 地点を結んだ海域。

A: 36°03'00"N / 121°00'00"E;

B: 36°03'00"N / 121°20'00"E;

C: 36°10'00"N / 121°20'00"E.

II. Qingdao 港 No.7 仮錨地

水深は 22.0m～30.0m。底質は泥。以下の 4 地点を結んだ海域。

A: 36°12'00"N / 121°04'00"E;

B: 36°15'00"N / 121°15'00"E;

C: 36°20'00"N / 121°15'00"E;

D: 36°17'00"N / 121°04'00"E.

III. 使用開始日：

通知日（6 月 26 日）より使用開始。

IV. 注意事項：

これら 2 つの錨地内では安全な速度を保ち、安全のため見張りを強化して注意して航行すること。錨泊中は規則に従って信号を掲揚すること。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/82f36550-9dde-40ae-ae14-357e954bb629>

3. Qinhuang Island の海域 - 孤立障害標識

JQHHZ (2015) No.22

China MSA 2015 年 7 月 7 日

沈船“Zhong Wei 0098”の位置を示す標識が設置された。孤立障害標識の位置は 38°23'11.40"N / 119°50'27.80"E、灯質は白光 毎 5 秒に 2 閃光、黒/赤/黒の円筒形で、トップマークは球形黒色 2 個。鋼製の灯浮標。

付近航行船舶は安全のため見張りを強化し、孤立障害標識から十分離れて航行すること。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/bc7f9b98-3c2a-423e-b126-c84de37d3d26>

4. Caofeidian、Zone 22-23 - 海底ケーブルによる三次元地震探査実施

JDGKHS (2015) No.20

China MSA 2015 年 7 月 15 日

I. 作業期間：2015 年 7 月 20 日～2015 年 12 月 20 日の昼夜

II. 作業区域：Dongying 港を北西へ 38km、以下の 5 地点を結んだ海域。

A: 38°30'53"N / 118°40'13"E;

B: 38°31'03"N / 118°55'36"E;

C: 38°18'22"N / 118°55'48"E;

D: 38°18'13"N / 118°47'55"E;

E: 38°22'27"N / 118°40'15"E.

III. 作業船：音波発振船 “Hai Bao Wu Hao”及び“Hai Bao Qi”、母船 Dong Yuan 3”。

IV. 作業内容：

1. 作業船は 1 回の作業区域を 15km×2km として区切り、順番に作業を行う。作業区域の周囲には警戒船を配備する。
2. 長さ 15km のケーブルを 0.2km の間隔で海底に 10 本敷設する。
3. 敷設完了後、海底の測定ケーブルの端に探査船上の機器を接続する。
4. 音波発振船は作業区域内を航行し、air gun を使用して音波を発生させる。
5. 1 区間の作業完了後、ケーブル 1 本を巻き上げて移動し、同様の作業を繰り返す。

V. 注意事項：

1. 作業船は「1972 年の国際海上衝突予防規則（1972 年 COLREG 条約）」に従って灯火・形象物を掲揚し、日中は“球形・ひし形・球形”の形象物を、夜間は“紅色・白色・紅色”の灯火を掲揚し、VHF16 チャンネルを聴取している。
2. 作業船は付近航行船舶と予め連絡をとり、要請があれば、作業船に向かってくる船に対して、迅速かつ正確に位置と速力を報告する。
3. 付近航行船舶は見張りを強化し、安全のため低速で航行すること。作業海域付近を航行する場合は、作業船に予め連絡をとること。

<http://www.msa.gov.cn/Notice/Notice/f34f7b72-f9e8-45d7-85ec-2b5bd1297b25>

免責事項

以上の航行警報は MSA China または MSA 地方局の公式ウェブサイトに掲載された情報の一部となります。これらの情報や英語訳の真実性について Sloma は責任を負いません。以上の航行警報に従った結果損害が発生しても、Sloma は責任を負いません。

Junmao Jiang, Sloma & Co. / 2015 年 7 月 24 日